

長野県社会保障推進協議会 第30回定期総会・記念講演

社会保障の財源問題と税制改革・社会保障改革の方向性

社会保障は国民生活に必要な制度であり、国や自治体の予算が優先的に配分されるべき性格のもの。それゆえ、国の財政が苦しいから社会保障費を削減すべきという立論自体は成り立たないはず。

問題となるのは、国の財政赤字や歳入不足を理由に社会保障の費用が削減されている現状でしょう。社会保障の財源問題とは、「国民生活に必要な社会保障の財源が本当に確保できないのか」、「消費税以外に財源はないのか」という問題設定に置き換えられます。

オンラインによる講演です。社会保障の財源問題と、税制改革・社会保障改革の方向性について、一緒に学び考え合ひましょう。



講師 鹿児島大学法文学部 教授 伊藤 周平 (いとう・しゅうへい) 氏

【講師プロフィール】1960年生まれ。専攻は社会保障法。東京大学大学院修了。労働省（現厚生労働省）、社会保障研究所（現国立社会保障・人口問題研究所）、法政大学助教授、九州大学助教授を経て、2004年より鹿児島大学法科大学院教授。2017年より現職。著書に『介護保険法と権利保障』（法律文化社、日本社会福祉学会学術賞受賞）、『後期高齢者医療制度』（平凡社新書）、『社会保障入門』、『消費税増税と社会保障改革』（以上、ちくま新書）、『社会保障法－権利としての社会保障の再構築に向けて』（自治体研究社）、『岐路に立つ日本の社会保障－ポスト・コロナに向けての法と政策』（日本評論社）、『医療・公衆衛生の法と権利保障』（自治体研究社）、『児童福祉・保育の法と権利保障』（信山社）など。

日時 2025年 2月22日 (土) 13:30~15:30

視聴会場 長野県高校教育会館

(長野市県町 593) 別館 2階 入場無料・配信併用

●Zoom オンライン配信の
登録はこちら⇒



●URL 入力の登録
「<https://x.gd/dZcd8>」



駐車は①の合同庁舎駐車場へお願いします

【主催】長野県社会保障推進協議会

〒380-0838 長野市県町 593 長野県高校教育会館3階 電話 026-219-6314

E-mail naganosyahokyoku1281@star.ocn.ne.jp